

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 初期環境調査  
 調査媒体: 水質(ng/L)  
 地方公共団体: 大阪市  
 調査地点: 大川毛馬橋(大阪市)

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[1] アジスロマイシン	nd	1.5	1.7
[2-1] メチル=(E)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート (別名:(E)-アゾキシストロビン)	2.9	0.55	1.1
[2-2] メチル=(Z)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート (別名:(Z)-アゾキシストロビン)	※0.32	0.32	0.39
[4] アモキシシリン	nd	0.013	0.013
[5] シアナミド	※270	190	280
[7] 3-[[[(ジメチルアミノ)カルボニル]オキシ]-1-メチルピリジニウム (別名:ピリドスチグミン)	1.1	0.043	0.043
[8] (4-[[4-(ジメチルアミノ)フェニル]フェニル]メチリデン}シクロヘキサ-2,5-ジエン-1-イリデン)(ジメチル)アンモニウム=クロリド (別名:マラカイトグリーン塩酸塩)	nd	0.028	0.028
[9] N,N-ジメチルピグアニド塩酸塩 (N,N-ジメチルピグアニドとして) (別名:塩酸メトホルミン(メトホルミンとして))	240	0.17	0.17
[10] セリウム及びその化合物(セリウムとして)	330	0.72	0.15
[11] タリウム及びその化合物(タリウムとして)	9.7	0.36	0.14
[13] チアムリン	nd	0.0094	0.013
[14] N-ニトロソジエチルアミン	0.21	0.026	0.026
[15] N-ニトロソジメチルアミン	1.7	0.024	0.024
[16] バルプロ酸	nd	1.7	3.1
[19] 3-ペンジリデンカンファー	nd	7.4	23
[20] ベンジル-p-ヒドロキシベンゾエート (別名:ベンジルパラベン)	nd	0.29	0.29
[22] レボフロキサシン	9.1	0.44	0.44

(注1)「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※:参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない。)